| 学校番号 | 1004 |
|---|---|

# 令和８年度　英語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | 上級英作文 | 2 | 3 | ・エスト出版<br>「エスト英作文改訂版」 |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英文法を一通り終えた後、その知識を活かして英作文の力をつけたいと思っている人を対象としています。
・基礎的な文法知識だけで英文を書くのは難しいので、日本語の内容をまず理解すること、その内容を複数の英文で表すこと、英語の語順に注意することに焦点を当て、徹底した基礎力を養うことをねらっています。
・更には、自然にこなれた和文英訳をする力を身につける中で、総合的な英語力の向上をねらい、大学入試に対応できる力を様々な活動を通して養います。
・機械翻訳に頼らず、辞書を手元に置いて、自分で英文を書いてみて、間違った部分や新たに学んだ項目や語彙を復習することが大切です。

## 2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと<br>（やり取り） | 話すこと<br>（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・オーバーラッピングやシャドーイングの技術を通して、リスニングの基礎となる練習ができる。<br>・リスニングした内容からトピックが判断できる。 | ・押さえておきたい高校英文法が身についている。<br>・まとまった文章を読んで内容が理解できる程に構文力や文法力が身についている。 | ・ウォームアップとして簡単な会話をペアですることができる。<br>・会話の中で発した自分の意見をまとまった英文で表現できる。 | ・身近なトピックや出来事について、事実、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて短く話すことができる。<br>・話した内容を論理的な英文構造でまとめることができる。 | ・和文英訳の際に、日本語の内容にできるだけ近づけるように吟味した上で、自然な英文を書くことができる。<br>・内容の要点を示す語句や文、繋がりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 |

## 3 評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 与えられた日本語に合う適切な文型を判断することができる。<br>修飾語を適切に補い、時制を正しく使うことができる。<br>日本語の内容に応じて、適切な語句を使うことができる。 | 日本語では省略されている主語を補うことができる。<br>発想を変えて、内容が同じ別の表現にすることができる。<br>日本語の表現で不要な部分は省略する。<br>日本語の表現で足りない部分は追加する。 | 和文英訳につながる授業中の様々な活動に対して、参加しようとしている。<br>学習した表現を使い、自分の力で和文英訳をしようとしている。<br>日本語の表現そのままでは意味不明になる場合は、別の表現を考えて書こうとしている。<br>自分の意見を英文で論理的にわかりやすく表現しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 英文の主要素と修飾語句について<br>英作文の心得①②<br>文型の決定<br>①～⑤ | 聞くこと | a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。<br>b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。<br>c: 重要構文の伝える情報を聞き取ろうとしている。 | 小テスト |
| | | 読むこと | a: 英語と日本語の主語の表現の違いや意味を理解している。<br>b: 日常生活や外国の文化についての短い文を読んで意味を理解している。<br>c: 日常生活や外国の文化についての短い文を読み、理解しようとしている。 | 定期考査 |
| | | 話すこと | a: 主語の使い方、文型に注意してパートナーと練習できる。<br>b: 自分自身や一般論についてパートナーと話し合える。<br>c: 一般論の主語と正しい文型、修飾語句を使ってまとまった内容を話そうとしている。 | ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 主語の使い方、文型を理解している。<br>b: 与えられた日本文に対して重要な語句を使ってまとまった英文が書ける。<br>c: 自分自身の考えや経験も踏まえ、論理的な文を書こうとしている。 | ライティング課題 |
| | | やり取り | a: トピックの内容について、Q&A をペアですることができる。<br>b: 自分の言葉で質問に対する正しい答えを言うことができる。<br>c: 質問に対して、できるだけ詳しく答えようとしている。 | ペアワーク |
| | 中間考査 | | | |
| | 修飾①②<br>時制の決定①②<br>助動詞の用法 | 聞くこと | a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。<br>b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。<br>c: 重要構文の伝える情報を聞き取ろうとしている。 : | 小テスト |
| | | 読むこと | a: 関係詞、準動詞、助動詞、時制の使い分けの用法・意味の違いを認識している<br>b: 日常生活や趣味、イベントについての短い文を読んで意味を理解している。<br>c: 日常生活や趣味、イベントについての短い文を読み、理解しようとしている。 | 定期考査 |
| | | 話すこと | a: 関係詞、準動詞、助動詞、時制の使い分けに注意してパートナーと練習できる。<br>b: 自分自身のことを、関係詞、準動詞、助動詞、時制の使い分けに注意して、パートナーと話し合える。<br>c: 関係詞、準動詞、助動詞、時制の使い分けに注意して、まとまった内容を話そうとしている。 | ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 関係詞、準動詞、助動詞、時制の使い分けを理解している。<br>b: 与えられ日本文に対して重要構文を使ってまとまった英文が書ける。<br>c: 自分自身の考えや経験も踏まえ、論理的な文を書こうとしている。 | ライティング課題 |
| | | やり取り | a: トピックの内容について、Q&A をペアですることができる。<br>b: 自分の言葉で質問に対する正しい答えを言うことができる。<br>c: 質問に対して、できるだけ詳しく答えようとしている。 | ペアワーク<br>教員とやりとり |
| | 期末考査 | | | |
| 2学期 | 受動態の表現<br>比較の表現①②<br>時の表現<br>目的に関する表現 | 聞くこと | a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。<br>b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。<br>c: 重要構文の伝える情報を聞き取ろうとしている。 | 小テスト |
| | | 読むこと | a: 受動態や比較の表現、時や目的の表現について理解している。<br>b: 日本と外国の文化や日常生活について比較した重要構文を含む短い文を読んで意味を理解している。<br>c: 日本と外国の文化や日常生活について述べた重要構文を含む短い文を読んで意味を理解しようとしている。 | 定期考査 |
| | | 話すこと | a: 受動態や比較の表現、時や目的の表現を使ってパートナーと練習できる。<br>b: 自分自身や友人のことを受動態や比較の表現、時や目的の表現を使ってパートナーと話し合える。<br>c: 受動態や比較の表現、時や目的の表現を使ってまとまった内容を話そうとしている。 | ペアワーク |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 受動態の表現<br>比較の表現①②<br>時の表現<br>目的に関する表現 | 書くこと | a: 受動態や比較の表現、時や目的の表現について理解している。<br>b: 与えられた日本文に対して重要構文を使ってまとまった英文が書ける。<br>c: 自分自身の考えや経験も踏まえ、論理的な文を書こうとしている。 | ライティング課題 |
| | | やり取り | a: トピックの内容について、Q&A をペアですることができる。<br>b: 自分の言葉で質問に対する正しい答えを言うことができる。<br>c: 質問に対して、できるだけ詳しく答えようとしている。 | ペアワーク<br>教員とやりとり |
| | 中間考査 | | | |
| | 原因･理由の表現<br>仮定･条件の表現<br>否定の表現<br>譲歩に関連する表現<br>程度･結果一見方を変えればどうなるか | 聞くこと | a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。<br>b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。<br>c: 重要構文の伝える情報を聞き取ろうとしている。 | 小テスト |
| | | 読むこと | a: 原因・理由、仮定・条件、否定・譲歩、程度・結果に関する表現の用法・意味を理解している。<br>b: 原因・理由、仮定・条件、否定・譲歩、程度・結果に関する短い文を読んで意味を理解している。<br>c: 原因・理由、仮定・条件、否定・譲歩、程度・結果に関する短い文を読んで意味を理解しようとしている。 | 定期考査 |
| | | 話すこと | a: 原因・理由、仮定・条件、否定・譲歩、程度・結果に関する表現を使ってパートナーと練習できる。<br>b: 自分自身のことを、原因・理由、仮定・条件、否定・譲歩、程度・結果に関する表現使ってパートナーと話し合える。<br>c: 原因・理由、仮定・条件、否定・譲歩、程度・結果に関する表現を使って、まとまった内容を話そうとしている。 | ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 原因・理由、仮定・条件、否定・譲歩、程度・結果に関する表現を理解している。<br>b: 与えられた日本文に対して重要構文を使ってまとまった文章を書ける。<br>c: 自分自身の考えや経験も踏まえ、論理的な文を書こうとしている。 | ライティング課題 |
| | | やり取り | a: トピックの内容について、Q&A をペアですることができる。<br>b: 自分の言葉で質問に対する正しい答えを言うことができる。<br>c: 質問に対して、できるだけ詳しく答えようとしている。 | ペアワーク<br>教員とやりとり |
| | 期末考査 | | | |
| | 総合復習<br>自由英作文 | 聞くこと | a: 英語の音声の基本的な特徴を理解している。<br>b: 重要語句をまとまりとして聞き取っている。<br>c: 重要構文の伝える情報を聞き取ろうとしている。: | 小テスト |
| | | 読むこと | a: 文脈に合う適切な語句を補うことができる。<br>b: パッセージの内容に関する質問に答えることができる。<br>c: 報告文や新聞記事などの多様な英文から情報を読み取り，整理しようとしている。 | 考査 |
| | | 話すこと | a. 基本的な会話ができる。<br>b: 与えられたトピックについて、論理的に自分の意見を言うことができる。<br>c. 聞き手に対して、わかりやすく自分の意見を伝えようとしている。 | ペアワーク |
| | | 書くこと | a: 自身の考えや意見を学習した語句や文を適切に活用して，英文を書く技能を身につけている。<br>b: 自身の考えや意見を明確な理由や根拠とともに，英文の中で詳しく伝えている。<br>c: 読み手に対して、わかりやすく自身の考えや意見を明確な理由や根拠とともに，詳しく書こうとしている。 | ライティング課題 |
| | | 発表 | a. 社会性のある内容について自分の意見が言える。<br>b. 社会性のある内容について論理的な意見が言える。<br>c. 社会性のある内容について、わかりやすく発表しようとしている。 | ペアワーク<br>教員とやりとり |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度